

,RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



2019-2020 年度 RI 会長 マーク・マローニー

例会予定 10月23日 外部卓話 徐 佳鋭様
10月30日 休会

VOL.57 No. 15 (通算No. 2612)

2019年10月16日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

米山月間卓話 林 友超さん



2019-2020年度 会 長 瀬 戸 隆 海

幹 事 五木田利明

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3階

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3階

TEL 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876

Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

例会報告 VOL.57 No. 14 (No.2611) 10月9日(水) 晴れ (司会 山中弘樹副委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会員卓話 山崎哲男会員

誕生祝



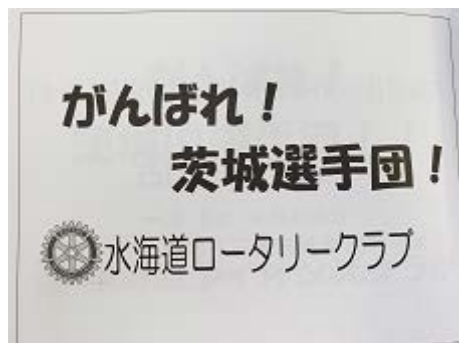
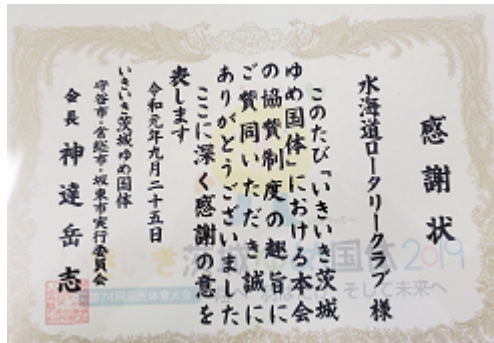
《会員》山崎哲男会員

《ご夫人》山崎(哲)会員 桑名会員

幹事報告 五木田利明幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし



会長挨拶 瀬戸隆海会長



さて、10月も半ばに突入ということで、22日に行われる即位パレードもリハーサルが無事に終わった様子であります。当日に使われる車は、トヨタのセンチュリーを改造したもので、8000万の予算を計上されているそうです。運転した宮内庁職員の感想は、乗り心地は凄くいいと話していたそうですが、もしこの宮内庁職員が、8000万かけた割には今一つって言ったら、どうなるのかなあとと思うと、想像しただけで面白くなります。

さて、今月は米山月間です。ご寄付については、青木委員長から再三のお願いのお声がけがあるかと思いますが、宜しく願い申し上げます。

財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し、支援する民間の奨学団体です。日本のロータリアンによる国際奉仕活動の一つであります。

10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間

米山奨学事業は、日本最初の東京ロータリークラブの創立に貢献した実業家・米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。“1ヶ月のタバコ代を節約して、留学生支援に”というスローガンで、1952年に東京ロータリークラブで始められたこの運動は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。始めは主としてロータリークラブの所在するアジア諸国からの留学生を対象としていましたが、1998年10月より米山奨学生の出身地をロータリークラブ所在国にかかわらず、すべての国・地域に拡大、1999年4月採用から、ロータリークラブの所在の有無による国籍別の資格制限がなくなりました。

創立以来の累計で奨学生数 12,700 人を超え、国籍別では 104 カ国となりました（2005 年 8 月現在）2005 年度奨学生は 42 カ国、799 名。奨学金による経済的な支援（一人年間約 170 万円）だけでなく、奨学生とロータリアンとの交流が、他の奨学団体にはない特色です。奨学生一人ひとりに世話クラブとロータリアンのカウンセラーがつき、奨学生の個人的ケアにあたるよきアドバイザーとなります。

奨学生は世話クラブの例会に出席して、米山月間には卓話をしたり、時に奉仕活動などにも参加したりして、カウンセラーをはじめ、クラブのロータリアンと交流することになります。様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本の伝統、文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンとの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

現在の米山奨学金支給者数

中国	339 人
ベトナム	135 人
韓国	80 人
マレーシア	42 人
インドネシア	36 人
ネパール	34 人
台湾	29 人
モンゴル	23 人
スリランカ	19 人
その他	132 人
合計	869 人

以前は一人の奨学生を支援するのに、年間約 170 万円を必要としましたが、最近の厳しい経済環境により、寄付金収入は会員の減少と共に減少の一途をたどっています。そこで、1999 年から奨学資金特別積立金を取り崩し、奨学金・事業費の不足分に充当していましたが、2003 年度の寄付金が目標額 16 億円を下回ったことにより、理事会・評議員会は奨学金支給額の縮減という苦渋の選択を余儀なくされ、奨学生の採用数を下記の表のように 1000 人から 800 人に、奨学金額は平均 7% 引き下げることになりました。

10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間

1 万人を超える学友が、いま世界を舞台に活躍していますこの中で教育関係が約 20%を占めています。大学で教鞭をとっている人、研究機関でさらに研究を進めている人、企業に務める人、など様々です。元米山奨学生のガバナー誕生は、韓国の林 隆義氏(ソウル市・聖徳総合病院院長・漢城 RC 所属 / 1997～98 年度第 3650 地区 PG)に次いで今回 2 人目のガバナーが台湾に誕生します。なお、第 3490 地区(台湾)の 2005～06 年度ガバナー・エレクトとして元奨学生の許 国文氏(1975～77 年度奨学生 / 徳島大学医学部 / 世話クラブ徳島 RC)が選出されました。

米山梅吉翁の命日(4月28日)にちなんで、4月に“米山週間”が設けられていましたが、1983年から10月が“米山月間”となりました。その主な理由は、米山奨学会の理事会、評議員会(8月末)の直後で、事業報告書など最新の資料を提供できる時期にあたるから、ということでした。特別な由縁のある月ではありませんが、米山奨学事業を考える機会のひとつとして、各クラブでプログラムを組んでいただくことになっています。

会 員 卓 話 山崎哲男会員



水海道ロータリークラブには今年4月より入会させていただきました、会員卓話の機会をいただきまして、ありがとうございます。山崎石材店の山崎です。

前回は約2年前に、水海道青年会議所の理事長としてこちらで外部卓話をさせていただきました。今回は一会員としてはじめてお話をさせていただきますので、自己紹介をあらためてさせていただきます。

私は1977年に水海道で生まれまして、今月42歳になります。両親と妻、子供が4人おりまして8人家族です。水海道幼稚園、水海道小学校、水海道中学校、水海道一高まで水海道におりまして、大学は東京で社会学を学びました。大学在学中にロータリークラブの2820地区の交換プログラムで1ヶ月ロサンゼルスに滞在させていただいたことで多少自信をつけまして、大学の奨学生としてアメリカのモンタナ州に1年間環境学を学びました。

帰国後は東京で非営利組織にインターンで入り、そのまま3年ほど勤めて、ここではマーケティングをやっておりました。仕事の方で、フィリピンの児童養護施設を運営するNGOの活動にも理事として携わっておりました。

東京勤めを終えた後、今の仕事に入る前に、ひたちなか市の手石店に丁稚奉公に行かせていただいて、その後、父が経営していた山崎石材店に戻り、震災がありました2011年はたくさんのお墓が壊れまして、その対応にあたる中で700件ほどのお墓を修理する大変な年になりましたが、その時に代表になりました、現在に至ります。

家業の石材店について、創業が延享4年、西暦1747年で、今年で272年になり、私で13代目です。創業といいましても、いつ創業したという記録がございません。初代が平吉という名前で、二代目半七が本格的に石屋をはじめたと伝えられておりますことから、初代平吉の没年を創業年ということにしております。以来、ずっと水海道でお世話になり、継承させていただいております。

瀬戸会長ゆかりの山田町宝珠院に宝塔が建っておりますが、そこに二代目半七と思われる名前が残っております。寛政十二年とありますので、西暦で1800年のものです。

山崎石材店では「つながり」を大切にしている石材店というスローガンを掲げております。つながりというのは目には見えませんが、確実にあるものであり、いろいろな場面で感じることができるものだと考えています。つ

10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間

なかりを感じる事ができる社会は平和で豊かな社会であろうと思います。御先祖さんとのいのちのつながり、地域でのつながり、ロータリークラブでは会員同士のつながり、いずれも目には見えませんが、仕事を通じてこのつながりを感じる事ができるように、よりよい関係にしていけることが私たちの仕事の本質だと捉えております。

仕事の内容についてです。当社は石材店で石を扱う仕事ですが、純粋な石工事というのは徐々に割合が少なくなり、現在はほぼお墓に関する仕事が9割以上となっております。業種分類では長年「石材小売」という表記をして参りましたが、仕事の内容がモノを届けるというところから、モノを通して得ることができるコトに移ってきていると感じたことから、先日、商工会の分類をサービス業に変更する届けを出しました。お客さまが求めていらっしゃるコトを的確に理解し、より高いご満足を得ていただけるように、様々な工夫をしております。

ひとつがデザイン墓石です。市場が成熟しまして、お客さまのご要望も多様化、高度化しております。従来のお墓も十分にいろいろなデザインがあるのですが、それだけでは市場の御要望に応えることができない部分が出て参りまして、私自身も 独学で墓石のデザインをいろいろと試行錯誤してきておりますが、やはりデザインを専門的にされている方には歯が立たないと感じまして、トップデザイナーと言われる方と地域独占契約を結んで、お客さまのニーズに応えられるようにしております。このデザイン墓石の取り組みがNHK で取り上げていただき、その際には染谷直前会長にもご出演をいただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、遠方のお客さまからもお仕事のご縁をいただけるようになりました。

もう一つご紹介するのは、プレゼンテーションの方法を改善して参りました。お墓は1人あたりで計算するとどのくらいの頻度で建てるのか？ご存知でしょうか。440年に一度だそうです。ということは一生のうちにお墓を建てる役割が回ってくるのは5人に1人だけです。当然ながら身近に最近お墓を建てた経験をお持ちの方がいらっしゃる確率は低く、どういう風に検討したらいいのかさえわからない、というのはお墓を建てる方のご不安だと感じています。そこで、過去の実績写真をデータベース化し、たくさんの事例をご覧いただくことでご要望を明確にいただき、コンピュータグラフィクスで完成イメージをご確認いただきながらご提案する仕組みをつくりました。この仕組みは経済産業省が推進する中小企業のIT投資のモデルとして「攻めのIT経営中小企業百選」に選出いただきました。茨城県では二社、石材業会では弊社のみです。お客さまには一生に一度のお墓づくり、必ずご満足のいくものにしていただきたい、と考えております。そのことをお伝えするために、墓石業界でははじめて100%の返金保証をつけさせていただきました。万一、出来上がったお墓が気に入らなかったら、全額返金させていただきます。

お墓をとりまく状況は 大きく変わってきております。業界の新しい課題の一つはお墓の継承者が足りない、ということです。子どもの数が減り、一度も結婚しない方が増え、3分の一が離婚する時代になりました。従来のお墓が100基あったとすると、継承者がいるのは47基のみ。残りは無縁になるか、もしくは、お一人で2つも3つもお墓を持っているという状況になっています。

こうした状況に対応することとして、永代供養コーディネートの仕事が増えてきております。永代供養とは、遺族に代わって、お寺さんや霊園が供養を行うということです。将来、自分がなくなったら、誰も弔ってもらえないんじゃないか、というご不安をお持ちの方もいらっしゃいます。供養ですので、宗教者とのご縁も必要なのですが、仕事の都合で引越してこられた方はそうした仏縁を お持ちでなかったりどのようにしたら

10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間

いいのか、聞ける人がいないという方も多いと感じています。そうした中で、お寺さんや霊園と生活者の橋渡しをさせていただく機会が増えてまいりました。

お困りの方が多いと感じましたので、お墓のセミナーを開催させていただくようになりました。多いときには1日で100名近くの方がいらっしゃいます。無料個別相談もお受けしている中でいただいた声を形にする一環で、要望がありました樹木葬霊園をオープンいたしました。こちらではプロデュースから販売管理までさせていただいております。今後も時代にあわせて墓地のリノベーション、販売のお手伝いをさせていただく機会が増えていくものと考えております。

最近ではよくも悪くもなんでもインターネットで調べるようになりました。お墓や供養に関する情報もあふれておりますが、私の立場からみると、インターネットの情報だけで大切なお墓や供養を検討することはおすすめてできないと考えています。なぜならば、インターネットは広告主の意向に沿って進化してきているので、ネット上にある情報が必ずしもベストな選択ではない可能性があるからです。

私は石とお墓の専門家として、ご縁ある方と一緒によりよい選択をさせていただくことで、「つながり」に貢献をして行きたいと考えております。今後ともどうぞご指導賜りますよう、お願いを申し上げます、新会員卓話とさせていただきます。

本日はお時間をいただきまして、ありがとうございました。

出席報告 青木英男委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
57名	37名	18名	2名	0名	67.27%

ニコニコボックス 小林聡司委員 入金額 67,000円 累計 674,000円
誕生祝御礼《会員》山崎(哲)会員(卓話させていただきます。) 《ご夫人》山崎(哲)・桑名 各会員
山崎さん、卓話宜しく申し上げます。 瀬戸・小林 各会員
今月もよろしく申し上げます。 五木田(利)会員
山崎会員卓話楽しみにしています。明日、取手RCに卓話行ってきます。 北村(英)会員
山崎哲男さん、本日卓話よろしくお願いいいたします。 石塚(克)会員
山崎会員卓話楽しみにしています。 倉持・石井 各会員
山崎君、本日は宜しく！ 古矢会員
山崎会員卓話宜しく申し上げます。 中山会員
休みが続きまして。 染谷(秀)会員
例会欠席しました。 宮代会員

会報委員会 福田克比古委員長 染谷正美副委員長 板垣吉郎委員